

ヨーロッパ文学演習

2単位 (選択) 3年 (後期), 4年 (後期)

石川 榮作・教授 / 人間文化学科

【授業目的】 ドイツの作曲家で、同時に作家でもあるリヒャルト・ワーグナー (1813-83) は後世の諸芸術に多大な影響を及ぼした。本授業科目ではこのワーグナーの楽劇『ニーベルングの指環』四部作のうち、二番目の作品『ワルキューレ』をドイツ語の原典で講読するとともに、ビデオを使ってオペラをも鑑賞することによって、教養を高め、豊かな人間性を培うことを目的とする。

【授業概要】 ドイツ・オペラの講読と鑑賞

【キーワード】 ドイツ文学, ワーグナー, 楽劇, ニーベルンゲン伝説, 北欧神話

【履修上の注意】 ドイツ語のテキストを講読しながら授業を進めるので、共通教育のドイツ語入門・初級を履修していることを原則とする。

【到達目標】 ドイツ語辞典を用いてワーグナーの台本を読むことができ、オペラそのものを楽しむことができることを到達目標とする。

【授業計画】

1. 前作『ラインの黄金』ハイライトで紹介
2. 『ワルキューレ』 第一幕 (1)
3. 『ワルキューレ』 第一幕 (2)
4. 『ワルキューレ』 第一幕 (3)
5. 『ワルキューレ』 第一幕 (4)
6. 『ワルキューレ』 第二幕 (1)
7. 『ワルキューレ』 第二幕 (2)
8. 『ワルキューレ』 第二幕 (3)
9. 『ワルキューレ』 第二幕 (4)
10. 『ワルキューレ』 第三幕 (1)
11. 『ワルキューレ』 第三幕 (2)
12. 『ワルキューレ』 第三幕 (3)
13. 『ワルキューレ』 第三幕 (4)
14. 『ワルキューレ』 第一幕通して鑑賞
15. 『ワルキューレ』 第二幕通して鑑賞
16. 『ワルキューレ』 第三幕通して鑑賞

【成績評価】 授業への取り組み (50%) とレポート (50%) による。

【再試験】 行わない

【教科書】 対訳プリント (石川訳) を配付する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220138>

【連絡先】

⇒ 石川 (088-656-7142, ishikawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週 金曜日 15時~ 16時)